

緑化通信

2023
8月25日
(年6回25日発行)
第500号



発行所

一般社団法人 日本植木協会

〒107-0052 東京都港区赤坂6-4-22 三沖ビル3階
TEL.(03)3586-7361 FAX.(03)3586-7577
URL: <https://www.uekior.jp/> E-mail: honbu@uekior.jp
購読希望の方は上記宛へお申込み下さい。年間購読料 5,000円



ミックス
紙 責任ある森林
管理を支援しています
FSC® C008422

環境に配慮するため
FSC®森林認証紙を
使用しています。

おかげさまで創刊500号 緑あふれる輝く未来へ



緑化通信 第200号 (平成5年)



緑化通信 第100号 (昭和59年)

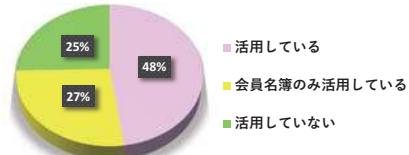


緑化通信 第1号 (昭和50年)

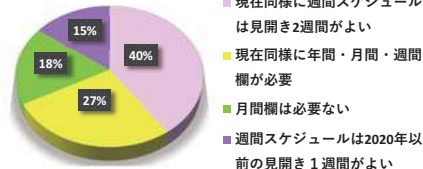
協会オリジナル手帳アンケート結果

会員さんにより良く、使いやすい協会オリジナル手帳を作成するために、令和4年11月に実施した手帳アンケートの結果です。このアンケート結果を元に令和6年の協会オリジナル手帳を作成致します。

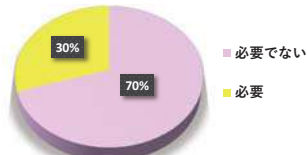
協会オリジナル手帳を利用していますか？



スケジュール記入欄について



白紙の住所録は必要ですか？



緑化通信 第400号 (平成21年)



緑化通信 第300号 (平成13年)

2024年版協会 オリジナル カレンダー販売

協会カレンダー委員会が、写真撮影や解説等、制作に1年間手掛けたオリジナルカレンダーです。
会員価格: 600円(税別)
一般価格: 700円(税別) 1部
(最少ロット10部、送料別途)
申込締切日: 9月15日(金)まで
申し込み用紙を同封しています。



令和5年度

第4回理事会を開催

令和5年6月22日(木)13時30分から協会会議室において理事13名、監事3名及び事務局出席のもと第4回理事会が開催された。

(1) 令和5年度前期監査報告について

岡部監事より前期監査について概ね適正に処理されているとの報告がされた。

(2) 連絡調整会議について

5月に開催された連絡調整会議について報告がされ、サポート会員について意見が出ているが、今後の検討課題とした。

また、総会でも質問が出たが、会員が何名になつたら協会運営に支障をきたすことになるのかについて、会員が400名を切つてくると現状のままの体制だと協会運営に支障が出てくるのではないかと意見があった。

(3) 来年度の通常総会について

緑化団体の一団体として、植木協会も出展している。1〜2週間に1回は国際園芸博覧会協会と打合せを行っている状況であるが、色々と遅れが出ている状態である。

(4) 2027国際園芸博覧会について

中国・四国ブロックでは、知事、市長、議員等の入選を検討中である。

(5) その他

他団体の総会や懇親会に出席した報告があり、今後、他団体と何か収益事業を考えて行きたい等の意見があった。



国際園芸博覧会協会より、今後、盛り上げるために緑化通信に花博の公式ロゴマークや、花博関連の記事等も提供してくれるとのこと。また、講演の場合も講師を派遣してくれるとのこと。その他理事からの質問は以下。

Q ブースにおいての物販等はできるのか。
A 確約はできないが、物販等もできると思う。

Q 出展をしていくとなつた場合、新たに委員会を作るのか、部会に協力を求めるのか。
A イメージとしては博覧会委員会ができあがっている中で、その中で実施していくのも可能かと考える。また、相当な人数が必要と考える。

Q 出展の際にかかる費用はどのようにするのか。
A 前回の浜名湖博の際には20年前のことであり、詳しいことは不明であるが、苗木等の販売収益の中から出展されたものもあつたと思うが、協会も資金があつたと思われ、これから協会も資金面で協力したと思う。現在の状況と違ふと思う。

資金的な問題も考えられるが、理事からの反対意見もなく植木協会として花博に出展していくこととなった。

植生調査委員会

令和5年度植生管理士スキルアップセミナー報告

副委員長 菅原 英典
(株)みちのくビオトープ(岩手県)

6月28日(水)29日(木)に新潟県にて令和5年度植生管理士スキルアップセミナーが開催されました。

心配していた雨も、調査中はほぼ降ることなく無事調査することができました。

初日は、新潟県の日本海側の植生を調査するために国上山(くがみやま)へ登つてブナ林を調査し、その後、弥彦神社の万葉の道を散策しました。

2日目は湿性植生を調査する為にラムサール条約へ登録されている佐潟(さかた)へ行き、その後、海岸へ移る調査しました。昼食後には(株)山種苗園の圃場を視察しました。



集合写真 佐潟をバックにハイポーズ

2023年度

コンテナ・新樹種部会 合同研修会報告

新樹種部会技術研修員会
委員長 小島 幹史
(株)京都芳樹園(京都府)

昨年度に引き続き今年度も7月11日〜12日の2日間、2部会による合同研修会を長野県松本市周辺と白馬市周辺で開催いたしました。

参加者は39名です。初日は3か所を視察し、翌日は1か所合計4か所の視察と講師による講演会が今回の研修会の概要です。

当日11時50分に松本駅に集合し最初の研修先である百瀬苗圃様に向かいました。百瀬苗圃様で最初カラザクラ等緑化樹のポット生産をされている圃場と会社

に隣接しているカラザクラや新樹種を生産している圃場の2か所を視察させていただきました。代表の上条さんの案内でヤマザクラ等緑化樹のポット生産をされている圃場と会社

に隣接しているカラザクラや新樹種を生産している圃場の2か所を視察させていただきました。代表の上条さんの案内でヤマザクラ等緑化樹のポット生産をされている圃場と会社

に隣接しているカラザクラや新樹種を生産している圃場の2か所を視察させていただきました。代表の上条さんの案内でヤマザクラ等緑化樹のポット生産をされている圃場と会社

に隣接しているカラザクラや新樹種を生産している圃場の2か所を視察させていただきました。代表の上条さんの案内でヤマザクラ等緑化樹のポット生産をされている圃場と会社

に隣接しているカラザクラや新樹種を生産している圃場の2か所を視察させていただきました。代表の上条さんの案内でヤマザクラ等緑化樹のポット生産をされている圃場と会社

に隣接しているカラザクラや新樹種を生産している圃場の2か所を視察させていただきました。代表の上条さんの案内でヤマザクラ等緑化樹のポット生産をされている圃場と会社

に隣接しているカラザクラや新樹種を生産している圃場の2か所を視察させていただきました。代表の上条さんの案内でヤマザクラ等緑化樹のポット生産をされている圃場と会社

に隣接しているカラザクラや新樹種を生産している圃場の2か所を視察させていただきました。代表の上条さんの案内でヤマザクラ等緑化樹のポット生産をされている圃場と会社



(株)丸八種苗園 上条祐一郎さん

い立ちや、植栽されている植物の説明を受けながら視察が始まりました。コニファー類やギボウシ等の宿根草が多数植栽されており、庭園の管理も非常に行き届いており目を引く庭園でした。地域柄冬場に越冬が難しい樹種は温室に避難させています。丁度コマクサ、ニッコウキスゲ、目玉など咲いていました。残念なことに天候悪化の影響で視察時間を1時間短縮して下山となりました。

1時間短縮したので急遽大王わさび園の視察を追加し無事合同研修会は終了となりました。

2部会合同研修会開催にあたり、研修先等皆様のおかげで今回の研修会も一部天候は悪く視

察時間を1時間短縮して下山となりました。

1時間短縮したので急遽大王わさび園の視察を追加し無事合同研修会は終了となりました。

2部会合同研修会開催にあたり、研修先等皆様のおかげで今回の研修会も一部天候は悪く視

察時間を1時間短縮して下山となりました。

1時間短縮したので急遽大王わさび園の視察を追加し無事合同研修会は終了となりました。

2部会合同研修会開催にあたり、研修先等皆様のおかげで今回の研修会も一部天候は悪く視

察時間を1時間短縮して下山となりました。

1時間短縮したので急遽大王わさび園の視察を追加し無事合同研修会は終了となりました。



和田寛さんによる勉強会



(有)百瀬苗圃 カラマツ1年生苗木畑 百瀬直明さん



白馬五竜高山植物園地蔵ケルンでの鶴飼さん母子



ヒマラヤの青いケシ

ルポ

シリーズ 社園さん紹介

No.18

大森畜産(有)緑化部

東京都(府中市)

まさに“都会の植木屋さん”と呼ぶに相応しい都心から近い住宅街にある大森畜産(有)緑化部さん。社長の大森一憲さんの隣には、奥様のまさみさんがずっと寄り添って手伝ってこられたそう。和やかに肩ひじを張らずに頑張っています。



お互いを笑わせ、リスペクトしているご夫婦

府中の畑と他はどこに？ 何を生産しているのですか？

一憲さん：「他には千葉県君津市に亀山農場があります。府中の畑は、挿し木をしたり実生から発芽させる繁殖の畑で、君津の畑は、府中で発芽させた苗を育てる畑です。君津で大きな鉢に入れ替えて出荷するというスタイルです。主に地被植物、グランドカバー、かん木の中低木等を生産していて、今は種類を整理して30種類程度です。生産が7割で卸が3割程度です」。

生産はどんなものを？

一憲さん：「思い切ってチャレンジすることは難しいので売れ筋のモノを作っています。今は大鉢のモノや、見栄えがするモノを生産したりと、特に品質にもこだわって経営は変わらないよう頑張っています」。

君津にもよく行かれるのですか？

一憲さん：「妻と週に1回程度はアクアラインで行ってますが、君津にはパートさんが5人おり、自分達で次々と考えてくれますし、各々が責任を持って作業をし、機械も使いこなせるので、ほとんど任せています」。

従業員さんが優秀だと楽ができますね(笑)！

一憲さん：「本当にすごい従業員さんたちなんです。任せるには、長い目で見て失敗してもそこは絶対に言わないです。若い人だったら言うでしょうが、4,50代の方は失敗したら自分が一番分かります。丸投げです(笑)。そうすると自分で考えて責任もって行動してくれます。逆に私を動かそうとするんです。“社長、いつまでに〇〇買っといてください、土をどうこうしといて下さい”と、尻を叩かれています」…みな爆笑！

社長は常に人を育てているということですね？

まさみさん：「社長は人にやる気や自信を持たせるプロなんです。私も全く初めてのことををどんどんやらされて…いつの間にか何でもやるようになりました。このままだと4トントラックも乗らせられそうです(笑)」

一憲さん：「女性の人はと、言っではいけないのかもしれないけど、女性の方は、任せると重機でも何でも本当にちゃんと出来るんです」

まさみさん：「私は、気を回してしまい自分が先に動いてしまうのですが、社長はみなに“出来るよ！”と言って何でもやらせます。そういう信頼と、長い目で見守って、“人を育てる”という手腕はすごいです」…本当に社長の一憲さんはすごい方ですね。

まさみさんもずっと一緒に植木屋さんのお仕事をしてるのですか？

まさみさん：「はい。結婚当初は君津に住んでいたのが亀山農場で15年間仕事をして、子どもが中学に入るタイミングで府中に来ました。今の私の仕事は主に受発注です。自社にないものは探して見積ります。君津と府中の畑の在庫管理等の事務作業をしながら、従業員さんの仕事の手配を考えることが私の役目です」。

一憲さん：「僕は経営や経理がメインなので、妻は全体の在庫や畑の状況は私よりも詳しいです」と、すごく奥様を褒めていました。

主婦業も母業もお仕事もと、すごいですね！

まさみさん：「いえいえ、ヘマばかりでやらかしています(笑)。畑で電話注文を聞いても忘れるので、“2つ以上は覚えられません。後ほど電話します！”と正直に言っています(笑)」と言う。対面では会ったことのない造園屋さんでも長いお付き合いで、いい信頼関係が出来ているそう。しかも、まさみさんは全くの畑違いの仕事をされていたと言うから驚きです。

すべてを上手くこなすコツは？

まさみさん：「自我が強いと仕事が回りません。仕事で“千葉行くよ”って言われれば、“そっか”と思って行きます。子育てもベビーカーを畑に置けたし、授乳しながら発注の電話に出たりとかありましたが、それでも社長に“子どもとずっと一緒に居られてよかったでしょ？”と言われると「あ、そっか、良かったのか」って思うようにしています。いつもこんな感じにまとめられてしまうんです(笑)」と面白く可笑しく話してくれましたが、本当はとっても大変だったことだと分かります。

今まで苦労されたことはどんなことですか？

一憲さん：「以前のように公共工事緑化のいい時期が来ると、“明けない夜はない”のように思っていた時は辛かったです。でもある時、会社や業種が社会状況に合わせないといけないと考え直すことが出来た時からは気持ちが楽になりました。頭のシフトを変えて、稲作やシイタケ作りを始めたり、気持ちが前向きになりました。また、最近は植木市場にも卸しています。市場は自分のタイミングで売れますし、徐々にコミュニケーションも出来てよかったです」。

将来的にはどのように考えてますか？

一憲さん：「僕も妻も年齢を考えると出来る範囲でほどほど頑張っています。私たちが今出来ることは、跡継ぎの問題は抜きにして、誰かがもし“やりたい”と言われたときに、“やってみれば”と言える状態にはしておきたいです。周りに流されずに、日本の風土に合った造園に耐えられるものを作っていきたいです。売ったら終わりではなく植物は生き物ですから長い目でいいものを皆さんに届けたいと思っています。それが植木業界の信頼にも関わります」。

具体的にはどんな計画を？

一憲さん：「今、ハウスの立て替えや出荷場を作るのと同時に、ハウスの外でも涼しく出荷作業が出来る作業場も増設しました。また、今までは日々の仕事で精一杯で理想があっても難しかったのですが、都心から近いアクセスを利用して設計士さんや造園屋さんがいつでも見て分かる見本園や母樹園や、10年後の植栽が分かるような見本園も作りたい」と、力強く語ってくれました。



府中市の挿し木や実生から育てているハウス



府中市の屋外の圃場



下段左から社長の大森一憲さん、会長の斉さん、会長の奥様の勝代さん。上段左から有働さん、一憲さんの奥様のまさみさん、吉岡さん、中川さん。

お二人のマイブームは？

一憲さん：とりえずドライブですかね。

まさみさん：「どんな車でもドライブ！行先はどこでもドライブ！荷物積んでいてもドライブはドライブです(笑)。車中でコミュニケーションが取れます」と言う。

最初からずっと夫婦漫才のようでしたが、夫婦っていいなって思わせてくれるお二人でした。ありがとうございました。



君津の圃場から移植したアカマツ

皆さんにもお話を伺いました。

会長の斉さんに。息子さんに言いたいことや思い出は？

会長の斉さん：「一言で頑張ること。続けることは大事です」と言う。会長は平成17年に農林水産祭天皇杯を受賞され、その時、模型植物園をお持ちした時、上皇后陛下の美智子様は、ほとんどの植物の名前をご存知だったことに驚きましたとすごい思い出を教えてくださいました。



会長の奥様の勝代様に昔の思い出は？

勝代さん：「昔はコンテナ部会研修に私もどこにでも何度も連れて行ってくれました。会長が、“女性も研修に行った方がいい”と勧めてくれてご婦人が数人参加するようになっていきました」と楽しそうに話してくれました。

従業員さんにインタビュー

中川さん：私は入社7、8年目です。草むしりやポットの植え替えや肥料をあげたり出荷もします。家も植物が多いです。

吉岡さん：私は勤続38年位です。私は主に種木を切って挿し木にしたりと繁殖作業です。まさみさんが、吉岡さんは、こなす量が半端ではなくてとても上手。重い荷物も自ら進んで持ったりするので無理しないで長く勤めて欲しいと言う。

有働さん：普段は別の事業をしていて、一憲さんと小学校からの幼馴染。いざという時の助っ人さんで大森さんはとても助かっていると言う。また、空手の師範で道場で教えている。



府中市の新設した作業場



君津市の亀山農場

集 座談会 人に聞く！ の緑化」

学科の2年生の学生さん3名と教授2名と、当協会員3名で
一員として、緑への使命感を強くした座談会でした。



座談会の様子



小川 嶺さん
好きな植物「サルズベリ」



金澤光芳さん
好きな植物「ハナミズキ」



奥浜七海さん
好きな植物「沖縄では見られない桜吹雪のサクラ」



副学長・教授の宮島淳二さん



教授の高宮さやかさん

●古賀さん では、日本
植木協会の方たちの自己紹
介をお願いします

福島さん 現在、協会青年
部の部長をして、福岡県
田主丸町で生産流通をして
います。今、懐かしと思っ
ていたのですが、実はここ
らの緑地環境学科の卒業生
です。学生の時は、この二
丈キャンパスで、仲間と共
に深く学び、より深く遊ん
だ甲斐もあり、今も植木業
界の中でも先輩後輩と繋
がっています。

●古賀さん 自己紹介
と、どうして西短の緑地環
境学科を志望されたのです
か？

久光さん 私は青年部会の
福岡県支部長をしていま
す。植木・芝生生産等をして
います。高校・短大計5
年間は、環境緑化を勉強し
ました。日本植木協会は植
木の生産や流通の団体です
が、緑化全体や地球環境も
考える必要があると思っ
ているので、今日は学生さん
に色々と意見をお聞きした
いです。

古賀さん 私は協合理事を
して、福岡県朝倉市で卸と
生産をしている4代目です。
実は私も西日本短期大

学は11期生で、5月から
は、この二丈キャンパスで
実践授業を教える教授です
(笑)。昔は、九州地方の
緑化関係の方の7割程の人
は、西日本短期大学出身で
した。私もこの学校に來た
お蔭で、沖縄から関東まで
植木を卸すことが出来てい
ます。緑は人の生活や環境
にとって、食べ物と同様に
大切なものと思って日々励
んでいます。

小川さん 私は宮島ゼミの
Instagramの担当です。実
家は緑化とは関係はなく、
高校の時にボランティア部
の活動で、平成29年の朝倉
市豪雨後のボランティアを
した時に、これは、よく
見たら全て土砂だ。土砂崩
れの山肌を見て、自然を
再生しなくては！森や自然



バスの中庭



提供)



集合写真

を守っていかなくちゃ！」
と強く感じました。だか
ら自然環境を学ぶためにこ
の大学に來ました。：思わ
ず、みなが拍手をしていま
した。

奥浜さん 沖縄出身で、私
も実家は緑化関係ではない
です。中学の時に、造園に
密着しているテレビ番組を
見て興味を覚えたのがきっ
かけで、造園を学べる高校
に進学して造園の仕事に就
くつもりだったのですが、
高校の先生にこの大学を紹
介されて決めました。沖縄
を出た理由ではないです
が、緑化をもっと勉強した
かったんです。：またまた
拍手！でした。

金澤さん 私は高校の環境
緑地科で緑化に興味を持
ち、西短の学校パンフレッ
トに一目惚れして入学しま
した。今も緑化を勉強すれ
ばするほど面白く、今ハ
マっている感じです。：ま
た拍手！でした。

久光さん 皆さんのような
志ある方がもっと増えて
社会に出てきてほしいです
ね。そしていろんな場所に
行って見てほしいです。私
は学生時代も含め20代の大
半は東京で、向こうに住ん
でいた時、街路樹がきれい
で驚きました。剪定や管理
方法が、地方と全く違った
ので、勉強になりました。

古賀さん 東京の街路樹
は、関東ローマ層の土で
育っていて10m以上の大き
な木が並んでいて、都庁周
辺も見事です。東京は、勉
強の場という以上に目の肥
やしくなります。最近、福
岡もアイランドシティの
ように都市緑化が進んでき
ていますが、若い人達は東
京に行って勉強することも
大事です。SNSや書物等
の知識でなく、自分の目で
見るのが大切だと思ってい
ます

●古賀さん 最近の庭は
南国系の植物？

●古賀さん 最近の庭は
南国系の植物？

●古賀さん 最近の庭は
南国系の植物？



環境指数を計るためのチョウの採取

緑化通信500号特集

西日本短期大の皆さま
「私たちの未来へ」

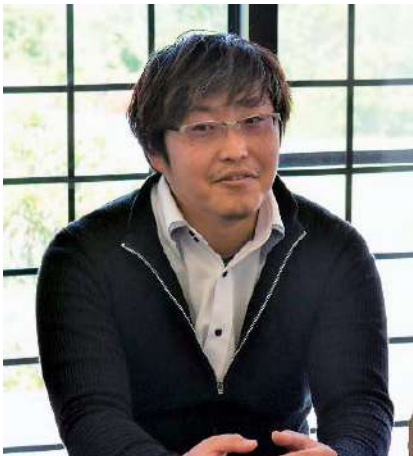
日本植木協会会員の出身者も多い西日本短期大学。今回は福岡県糸島市の二丈キャンパスにて緑地環境学「未来の緑化について」対談をしました。学生さんたちの志の高さに感銘を受け、私たちも緑の団体の一



理事の古賀見さん
(南大福・福岡)



青年部会長の福島啓輔さん
(南福岡緑化情報センター・福岡)



青年部会福岡支部長の久光泰輔さん
(久光農園・福岡)



二丈キャンパスの中庭での取材風景

福島さん 今はないよ
うですが、昔は海外研修が
あり、海外で剪定もしたし
植栽を沢山見ました。
古賀さん 海外を見ること
は大事です。海外を見ると
逆に日本の良さが分かりま

久光さん 日本では
庭園を作ってみたくあ

色々な国の緑化や
植物を見ることは
大切

という現実、単に喜んで
はいられません。
久光さん 最近の夏の暑さ
は異常だと思います。確
かに輸入の植物は珍しいた
め、差別化を求めて庭に植
える若い人たちも多いで
すが、以前は植えても寒さ
で育ちませんでした。また、
最近では沖縄地域が南国系
の生産地になりつつありま
す。昔は、沖縄は本州から
苗木を出荷して、それを仮
植するための畑だったの
が、今は生産の畑に移行し
て、沖縄から南国系の苗木
が来ている。個人的には
日本庭園が好きなのです
が、今はそもそも樹木を植
える場所がない家が多いで
すよね。

す。中国では果てしなく地
平線まで一面に畑でした
し、メインの国道わきの緑
化は、国道と同じ幅の公園
が、その国道横に整備され
ていて、そのスケールの大
きさに本当に驚かされま
す。
久光さん 意外と、日本は
日本人が思っている以上
に、独特の文化を持ってい
ます。四季があり植物の種
類も多いですし、古くから
の歴史もあります。国によ
り考え方も違います。ま
た、昨今のドイツなどは環
境に力を入れていて、街路
にCO₂計測器が付いてい
たりします。

りますか？

奥浜さん 私は日本庭園を
造ってみたいですが、その
前に日本庭園を全国各地に
沢山見に行きたいです。ツ
アーで行った兼六園をも
う一度きちんと見たいです
し、京都の日本の代表的な
寺院の庭園も見て回りたい
です。故郷の沖縄の庭は、
日本庭園にある植生とは違
いますし、庭園そのものの
造り方も違います。
高宮先生 日本庭園にはマ
ツですね。日本においてマ
ツが減少しては困ります。
海岸端でも抵抗性クロマツ
の植樹をしています。協
会の方々には、ぜひマツを
作り、日本のマツを守り続
けて欲しいです。

宮島先生 そうです。私は
以前、熊本県の試験場で抵
抗性マツに注入する線虫を
作っていました。抵抗性マ
ツは手間暇が掛かっている
分高価ですが、マツを維持
するために必要なのです。
植生や植物を守るために、
病害虫について知ることが
大切なんです。ですから
学生には「頑張って樹木医
を取りましょう！」と言っ
ています。(笑)

久光さん 将来、どう
いう事がしたいですか？
小川さん 将来の夢は2つ
あり、1つは緑を戻しつつ
新しい形に変えていく仕事
で、もう1つは緑を教える
側に立ちたいです。僕は
今、「緑を大切にしよう」と
いう自然環境について学ん
で、めっちゃ地球環境
にいいことしていますが、
叶ったんですね！

宮島先生 実は私は昔から
学校の先生になりたかった
のです。高校の時から生物
が好きで原生林に毎週植物
採集に行き、その後も材
線虫を発見した大先生のも
とで研究を重ねて、今やっ
とこの大学で先生となり、
夢が叶いました。…夢が
叶ったんですね！

古賀さん 夢を持ち、その
ための目標を持ち続けられ
ば必ず夢が叶うでしょう。一
緒に頑張りましょう！



二丈キャン



ミドリヒョウモン(雄)(Instagram 西短 宮島ゼミ提供)



園場 (南福岡緑化情報センター)

金澤さん 私は、日本の緑
地を維持管理しているの
は、地方自治体なので、公
務員になって街の緑を豊か
にしていきたいです。森や
緑の中に町を作るといふイ
メージの町です。そういう
緑の町を作りたいので、公
務員となり街の緑化を豊か
にしていきたいです。

久光さん そういふこと
で後から気が付くものです
よね。夢があっても様々な
理由により途中で断念して
しまふ人も多いですが、若
い時から自分の夢を周りに
話していた人達は夢を叶え
ている人が多いです。

「じゃあ、これをどう後世
に残していくか」と考え
ると、「教える」という形
で貢献していきたいと考え
ています。

高宮先生 本当に素晴らしい
です。今、心から感動し
ています！
福島さん 社会人になっ
ても勉強の毎日です。悪い先
輩として言うならば、学生
の時もっと勉強しておけば
よかったなと思っています
(笑)。

西日本短期大学 緑地環
境学科の皆さん、ご協力あ
りがとうございました。
お互い夢に向かって頑張
りましょう。

日本列島植木植物園運営委員会

春の日本列島植木植物園運営委員会の
東北視察研修 5/31〜6/1 参加者36名

委員長 古川 和生 古川庭樹園(大阪府)

日本列島植木植物園運営委員会の視察研修会を令和5年5月31日(水)〜6月1日(木)、晴天に恵まれて北日本菅与(株)さんの青森県の見本園と圃場、(株)みちのくビオトープさんの胆沢圃場に参加者女性4名を含む36名で研修視察を実施しました。31日の懇親会では、初対面の人も多く中、親睦交流を深めることが出来ました。



北日本菅与(株)さん



ナラなどが点在する圃場には、サクラ、モミジ、アオダモ、ナツハゼなどの落葉樹が多数生産されています。また一部のエリアでは、植木の耐寒テストを行っていただきました。近年の傾向としてアオダモの需要が増え山採も始めたことでした。その後バスに乗りし重要文化財の農場施設21棟の一部を見学させて頂きました。特に木造四階建ての巨大倉庫「四階倉庫」は圧巻の存在感でした。

最後に岩手山を背景に緑の大地に根を張る有名な一本桜(エゾヒガン)の前で記念撮影をしました。小岩井農場130年の歴史とスケールの大きさを感じました。昼食はジンギスカンと牛肉ランチは美味しく、食後は濃厚なデザートが甘く、夏らしい自然環境を感じることが出来ました。2日目は、朝8時に出発して大型バスにて小岩井農場(株)に行きました。足澤緑化部長をはじめ佐々木様(女性2名)3名の方に場内を案内して頂きました。農場の歴史を感じさせる大径木のモミジ、カツラ、コナラなどが点在する圃場には、サクラ、モミジ、アオダモ、ナツハゼなどの落葉樹が多数生産されています。また一部のエリアでは、植木の耐寒テストを行っていただきました。近年の傾向としてアオダモの需要が増え山採も始めたことでした。その後バスに乗りし重要文化財の農場施設21棟の一部を見学させて頂きました。特に木造四階建ての巨大倉庫「四階倉庫」は圧巻の存在感でした。



集合写真 小岩井農場(株)にて



小岩井農場(株)さん



スに分かれて山採り現場に向かいました。モミジ高木コースでは、樹皮の美しいシラカバ、ハクウンボク、モミジ、ヤマボウシを見ながら、需要の多い樹種、樹形、出荷手順などの話を聞かせていただきました。清々しい空気に包まれ、初夏の美しい自然環境を感じることが出来ました。2日目は、朝8時に出発して大型バスにて小岩井農場(株)に行きました。足澤緑化部長をはじめ佐々木様(女性2名)3名の方に場内を案内して頂きました。農場の歴史を感じさせる大径木のモミジ、カツラ、コナラなどが点在する圃場には、サクラ、モミジ、アオダモ、ナツハゼなどの落葉樹が多数生産されています。また一部のエリアでは、植木の耐寒テストを行っていただきました。近年の傾向としてアオダモの需要が増え山採も始めたことでした。その後バスに乗りし重要文化財の農場施設21棟の一部を見学させて頂きました。特に木造四階建ての巨大倉庫「四階倉庫」は圧巻の存在感でした。

あなただけの本を作ませんか?

あなたの夢・あたためている作品を形にしてみませんか?
皆さまの本作り一準備から納本まで一誠意をもってお受けします。



わたしたちに
おまかせください!



関東図書
の
自費出版
KANTO TOSHO

関東図書株式会社
〒336-0021 さいたま市南区別所3-1-10
TEL 048(862)2901代 FAX 048(862)2908代
0120-161092
http://kanto-t.jp/

●自分史・写真集・画集・歌集・句集・詩集・小説・随筆 他を
お考えの方は、どうぞお気軽にご相談下さい。
編集スタッフが、お相手します。
●ISBN(国際書籍コード番号)もとれます。
●他にも、HP・動画・AR等、なんでもご相談ください。

地方かわら版

第40回全国都市緑化仙台フェアに
宮城県支部長の田中秀穂さん(株)ガーデンニ賀地が参加

第40回全国都市緑化仙台フェア「未来の杜」は、2023年4月26日(水)〜6月18日(日)の開幕まで、色とりどりの花や緑、にぎやかなイベントが開催されました。



仙台駅前の一面のペチニャーは
ガーデンニ賀地さんの自動給水システム



せんだい緑化フェアの屋内展示



田中秀穂さんはガーデンガーデンという園芸ショップを宮城県に数店舗出店されておりますが、ガーデンガーデン愛子本店の一部を紹介します。外には大きな植木から小さな苗木、今人気の多肉植物等、一日中居ても飽きないほどの品数があり、ショップ内には輸入雑貨から植物に合わせた家具も取り扱っています。美味しいソフトクリームショップや遊具もありお子様も一緒に楽しめます。



メイン会場である青葉山公園追廻地区だけでなく、西公園南側地区会場、広瀬川地区会場のほか連携会場と仙台市全域で花や緑、自然の恵みが体感できるフェアとなっています。植木協会の宮城県支部の(株)ガーデンニ賀地が参加しました。デンニ賀地の田中秀穂さんが参加しました。室内でも新生ハイドロカルチャーを使用し植木が育つことをメイン会場のあらゆる所に植木を展示し紹介しました。会場内の植木も元気に青々と生育されています。フェア終了後に、協会の宮城県支部長宛てに仙台市長様と(公財)都市緑化の恵みが体感できるフェアとなりました。植木協会の宮城県支部の(株)ガーデンニ賀地が参加しました。

連載「西欧自然環境保全の旅」第3回

ロンドンの新名所となった自然再生事業 (ロンドン・ウェットランドセンター)

滋賀県立大学環境科学部環境政策・計画学科教授 上河原 献 二



◆プロフィール
1984年東北大学法学部卒業、環境庁入庁。
2013年より滋賀県立大学環境科学部環境政策・計画学科教授として、環境法・環境政策を教える。現在は、侵略的外来生物管理法制度など自然保護法制度の国際比較を中心に研究。

ロンドンの繁華街の中心、ピカデリーサーカスから南西に8キロほどのところに、野鳥の楽園ロンドン・ウェットランドセンター（以下「センター」）があります（写真1）。2000年に開園して、年間約20万人が訪れるロンドンの新しい名所となっています。

そこは、元々ロンドンに上水道を供給するために19世紀末に建設されコンクリート張りの42haの大規模な貯水池だったのです。20世紀に入ると、水鳥の越冬地として著名になりました。そのため1970年代には、「学術研究上重要地」（Sites of special scientific interest：SSSI）に指定されました。しかし、1989年に貯水池としての役割は終わりました。水鳥・湿地トラスト（Wildfowl & Wetlands Trust：WWT）の創設者であったピーター・スコット卿（写真2）は、当時、ロンドン地域での野鳥保護区の形成を構想していました。そこに、この役割を終えた貯水池の情報が知人より伝えられたのです。そしてWWTと貯水池を所有するテムズ・ウォーター社とで話し合いが持たれました（イギリスでは上下水道事業が民営化されています。）。その結果、隣接するテ



写真1. ビジターセンター外観：上河原撮影（2016）



写真2. ピーター・スコット卿の銅像：上河原撮影（2016）

ムズ・ウォーター社所有地9haを宅地開発して得られる利益1100万ポンドを活用して、貯水池を新しい湿地に転換する事業が行われることになりました。パンフレットによると現在の同センターの面積は45haなので、東京港野鳥公園（36ha）、谷津干潟（40ha）より少し広いほどです。

1995年に地元自治体の計画承認を得て、同年11月から工事が始まりました。多様な水鳥が生息できるように多様な形態の湿地が整備されました（写真3）。そしてイギリスの植生分類に基づいて自然状態を模して植物が植えられました。それらはその後、見事に成長しています。そして地元ボランティア・グループの協力を得て、ロンドン地域でもっとも詳細といわれる動植物調査が行われています。

生えてきた植物の中には招かざる客もありました。1998年に南米原産の侵略的外来水生植物オオバナミズキンバイが確認されたのです。植栽したときに紛れてきたのではとの見方もありますが、水鳥によって種子が運ばれた可能性があると私たちは推察しています。イギリスの野外における初確認でした。見つけたのは、WWTのボランティアでした。それをロンドン地域の植物相を記録する役割を担っていた著名なアマチュア植物学者 R. Burton 氏が同定しました。同氏がその報告記事の中で、オオバナミズキンバイがフランスで大繁茂して深刻な害をもたらしていることを警告したのも立派です。外来生物管理を含めてイギリスにおける自然保護は分厚い市民ナチュラリストの存在に支えられています。手作業による引抜に加えて除草剤も慎重に活用して、2010年にはセンターのオオバナミズキンバイは地域根絶状態に至りました。

センターには、大小の観察舎（写真4）の他、日本の自然観察施設では余り見かけない立派な食堂もあります。そのため、昼食の心配をせずにゆったりと過ご



写真3. 多様性のある湿地の眺め：上河原撮影（2016）



写真4. 3階建て観察塔：上河原撮影（2016）

すことができます。また職員数も約40名（多少の季節変動有）と多いのです。日本との違いの背景にあると思われるものの一つに、使用料があります。日本の自然観察施設では、利用料を徴収している場合でも大人一人数百円であるのに対して、センターは大人一人17ポンド（約3000円）と比較的高額です（昨今の円安も強く効いていますね。）。

センターは、大都市における自然再生の成功事例とされています。整備水準の高さや活発なボランティア活動など、学ぶことがあると思います。

（参考文献）

D. Goode (2014) *Nature in Towns and Cities*.

R. Bullock et al. (2021) WWT London Wetland Centre - the first 20 years, *British Wildlife*, 32(8), 584-591.

Richard Bullock (2011) The End of a Golden Era ... and a Good Thing Too, 53 *BIODIVERSITY NEWS*(53), 32-33.

R. M. Burton (1999) Botanical Records for 1998, *THE LONDON NATURALIST* (78) 199-200.

素描挿話。

～すてきな花達に魅せられて

⑱ ヤナギラン

小岩井農牧(株) (岩手県)

たろ さわ ただし

足 澤 匡



かびます。また、「ラン」が付く植物は、スズラン、オリヅルラン、ノシラン、ハラン、ヤブラン、リュウゼツラン、キミガヨラン、タケシマラン、などがありますが、「ヤナギ」「ラン」、それぞれの知名度が高いために、強引に名付けられているような気がします。中には全く似ていない植物もありますよね。ちなみに、「ヤナギラン」はアカバナ科で、花の色は違いますが、オオマツヨイグサなどのマツヨイグサ（宵待草、月見草、）の仲間の花と形が似ている気がします。もし見る機会があったなら、よく観察してみてください。

ちなみに、このスケッチを描いたのは、岩手県宮古市区界高原ですが、日本に自生している山野草なのに、花の色や形、葉の色などが、とても洋風で、園芸的に作られた花のように見えました。また、群落を作っていたために、自生しているとは考えられず、人為的に植えられた植栽のように感じました。このように特徴的な花なのに、「ヤナギラン」は、全く安直ですよね。もう少し花の素晴らしさを表現する名前を付けてあげればいいのに・・・、と思うのは私だけ……。この花に限らず、高い山々を登山した時に、足元に咲き乱れる高山植物は、俗世間から離れ、神々の住む世界に咲く、とても気高い高貴な花に見えるのも、私だけでしょうか？……。いろいろと書きましたが、植物に対する興味は尽きませんね。だから、楽しいです。



岩手県宮古市区界にて

青年部会だより

青年部会関西支部研修
神奈川視察

中村 美岐
グンゼグリーン(株)(兵庫県)

令和5年7月14日・15日、川達さんがおっしゃった神奈川県にて青年部関西支部研修会が行われました。夏本番を迎え、わくわくするような気持ちの中、今回は神奈川県の4社園を訪ねました。

まず1日目は、米屋農園と(有)古屋植木を視察しました。

米屋農園では、古木オリブをはじめ、よく目にする植木も、米屋農園にあるものは印象が驚くほど違い、植木の可能性に気づかされる視察でした。また、視察の中で4代目である小



株小島植物苑さんにて集合写真(中村さんは左から2人目)



株小島植物苑さん

しのような感覚になりました。次々と新しい植木を見つけて出すセンスと、世に送り出していく発信力に改めて驚かされ、勉強になる時間でした。

2日目の視察は、(株)小島植物苑とSOLSO FARMです。

(株)小島植物苑の小島社長は、関西支部長の今里さんの同級生でもあり、和気あいあいと視察を行うことができました。小島植物苑の圃場は、まるで広い庭園のよう



(有)古屋植木さん



SOLSO FARMさん



米屋農園さん

よう、様々な樹種がうまく調和して植栽のイメージが自然と湧きました。SOLSO FARMのデザイン力と企画力に圧倒されました。植物と共存している感覚になるこの空間は、植物に興味のない人にもきくと魅力が伝わるのではないのでしょうか。私も植物を届ける一因として、とても刺激的でした。

まだまだ語りつくせませんが、このように大変濃厚な2日間を過ごし、無事、関西支部研修会を終えることができました。視察以外にも、懇親会で神奈川県の美味しいお酒とご飯を頂きながら交流を深め、皆様と過ごす時間はとても有意義なものでした。

この度、ご協力いただいた皆様、そして、神奈川県視察を企画くださいました関西支部長の今里様には深く御礼申し上げます。

この実りある時間を昇華させ、次回の研修会には成長した姿をお見せできるよう精進して参ります。

地方かわら版

令和5年度九州ブロック
研修会実施報告

九州ブロック長 酒見博文
(有)酒見緑化園(大分県)

令和5年6月7日に九州ブロック研修会を国営海の中道海浜公園で開催したので報告します。

まず、今回の研修会を企画した目的を国土交通省九州地方整備局と九州緑化協議会との緑化懇談会に提出する提案事項の実証及び実験が可能かどうかを検証するための研修としました。

九州緑化協議会とは、(一

社)日本造園建設業協会九州総支部・(一社)ランドスケープコンサルタンツ協会九州支部・(一社)日本公園施設業協会九州・沖縄支部・(一社)日本植木協会九州ブロックの四社団で形成し、(一社)日本造園建設業協会総支部長執行氏を会長とする団体です。

これまで九州ブロックから数々の提案をし、国土交通省九州地方整備局に採用して頂いた経緯があり、今後の提案も採用して頂けるよう役員会で提案事項を協議していましたが、近年のDXやICTなど自動化や遠隔作業の取り組みでの提案が植木生産では非常に難しいのではないかとこの結論に達しました。そこで、国土省建設部建設専門官宇川氏に相談したところ快く聞き入れて頂き、国営海の中道海浜公園内に存在することが分かり、各エリアを視察研修させて頂ける事となりました。



左が中道海浜公園事務所小島事務所長、右が上村調査設計課長



研修風景



植え替え時期が近付いたパーム

研修当日参加者二十五名は国営公園管理事務所小島事務所長・上村調査設計課長に公園を案内して頂き視察、公園内にある森の家研修室で課題を検討した後アンケートにより課題を精査することとした。

研修終了後は視察に参加できなかった会員を交え博多駅近くの居酒屋で懇親会を行い、親睦を深めました。この研修は植木生産だけではなく、課題点や植栽での苦労、育成管理の難しさを現実として見ることができるとても良い視察研修でした。

会員動向

代表者変更

- ▷(新) 瀧沢政巳 (株)清紫園(群馬県)
- ▷(新) 川崎和哉 (株)川崎緑化センター(鹿児島県)

担当者変更

- ▷(新) 久保山善文 (有)球磨緑地(熊本県)

退会

(有)郡山養樹園(鹿児島県)

訃報

岡部長亀様(岡部由弥氏の御尊父様)
岡部農園(東京都)
令和5年6月28日没
享年86歳



極めて厳しい生育環境でのクロマツ植栽



森の家での課題検討会